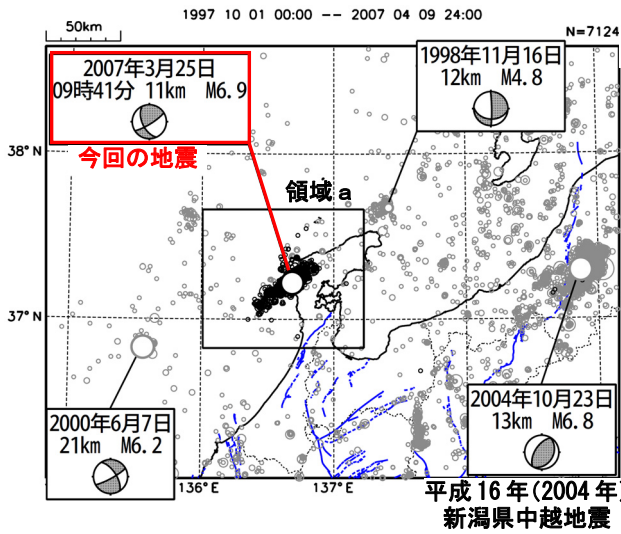


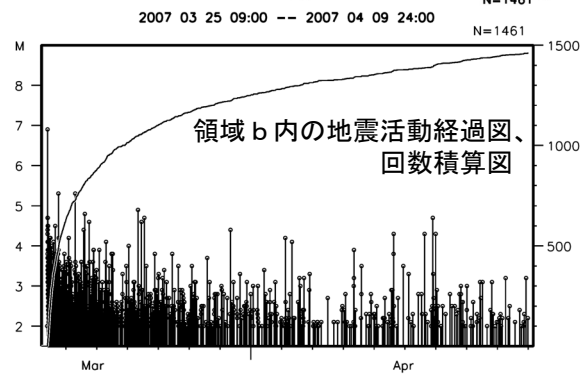
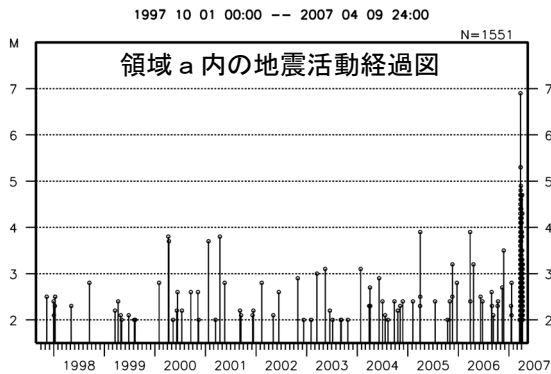
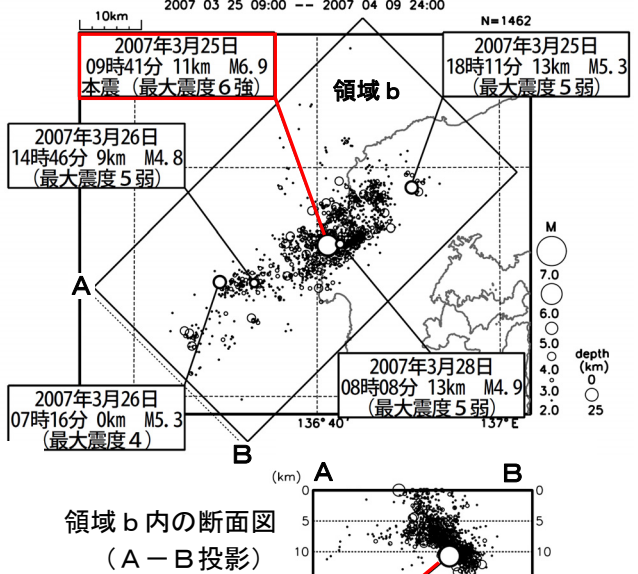
平成 19 年（2007 年）能登半島地震

A 震央分布図（1997 年 10 月以降、 $M \geq 2.0$ ）

[2007 年 3 月以降の活動を濃く表示]

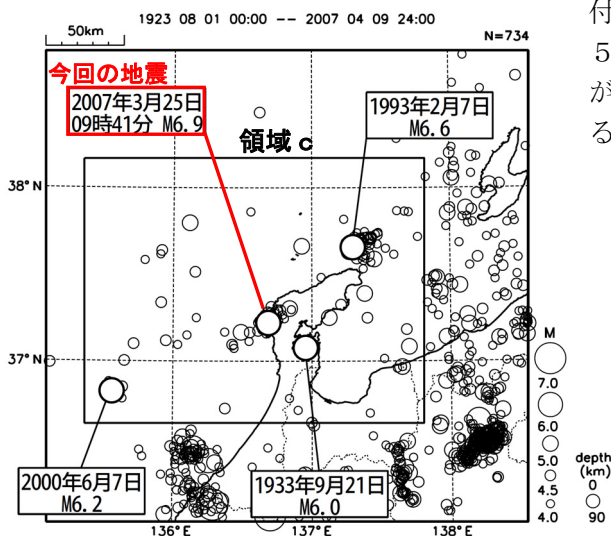


震央分布図（2007 年 3 月 25 日 9 時以降、 $M \geq 2.0$ ）



2007 年 3 月 25 日 09 時 41 分に能登半島沖の深さ 11km で M6.9 (最大震度 6 強) の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。余震活動は次第に減衰してきている。これまでの最大の余震は、25 日 18 時 11 分 (最大震度 5 弱) および、26 日 7 時 16 分 (最大震度 4) に発生した M5.3 の地震である。(A)

B 震央分布図（1923 年 8 月以降、 $M \geq 4.0$ ）



1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、最近では 1993 年 2 月 7 日に M6.6 (最大震度 5)、2000 年 6 月 7 日に M6.2 (最大震度 5 弱) の地震が発生するなど、M6.0 以上の地震が 4 回観測されているが、今回の地震が最大規模である。(B)

